



平成 31 年 2 月 17 日

高知県知事 尾崎 正直 様

高知県公共事業再評価委員会

委員長 那須 清吾



平成 30 年度高知県公共事業再評価委員会の審議結果について

平成 31 年 2 月 1 日に開催された高知県公共事業再評価委員会において、土木部の関係事業を審議した結果、下記のとおり提言します。

記

○春遠生活貯水池建設事業

当該事業は、浸水被害の軽減や利水安全度の確保が図られることなど、事業継続の効果が高く、費用対効果も 2.34 と十分であることから、事業を「継続」とする。

なお、地元からの要望が強いことや最近の降雨の変化も鑑み、早期に事業進捗していくよう意見させていただく。

○水産生産基盤整備事業（安芸漁港）

当該事業は、台風等の荒天時における安全性が向上するほか、土地利用上の安全性確保が地域産業に寄与するなど、事業継続の効果が高く、費用対効果も 1.14 と十分であることから、事業を「継続」とする。

なお、地元からの要望が強いことを鑑み、早期に事業進捗していくよう意見させていただく。

○安芸川河川改修事業

当該事業は、平成30年7月豪雨により、床上浸水被害や孤立集落の発生や長時間にわたり県道の通行止めが発生するなど、地域住民の生活に大きな影響を与えた状況を鑑み、新規事業化は妥当である。

なお、地元からの要望が強いことや最近の降雨の変化も鑑み、早期に事業進捗していくよう意見させていただく。

